

## 公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	相原たけの子学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市相原町1673(相原小学校校舎内) 【開設年月】2005年 【開館日時】月曜日～土曜日／8時～19時 【建物面積】延床面積 157.71㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 校舎棟内1階部分 【児童数】101名(2022年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyoo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理・修繕等 (4)前各号に規定したものほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	毎年度	・感染対策を講じながら移動防災教室を実施した。 ・季節の工作や行事を行い、様々な体験活動に繋がった。 ・一日保育時に遠足へ行き楽しい時間を過ごした。
職員の質の向上を図る	毎年度	・研修の機会がある時には積極的に参加し、常に新しい情報や知識を得ることを心がけ、職員の質の向上に努めた。 ・職場研修計画に基づき、法人独自の研修に力を入れた。また「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いて、施設内でのOJTにも力を入れたことで、一人ひとりの意識が高まり個々の職員の質の向上に繋がった。 ・階層別研修を法人内で実施し、職員のスキルアップを図った。 ・人事考課制度を導入し人材育成の強化を図り、職員の育成に繋がった。
安全管理に努める	毎年度	・新型コロナウイルス対策で、毎朝の検温・マスクの着用・手洗い・うがい・手指消毒・換気・施設の消毒を徹底した。さらに三密にならないように環境を整え、おやつ時は交代制にするなど対策に努めた。また、法人内の感染症部会を中心に感染防止対策を検討し、法人内のクラブで情報共有を行った。 ・学童専用門のダイヤル式の鍵は、定期的に番号を変更し安全管理に努めた。 ・ICTシステム「コドモン」を導入し、保護者へ登所・降所の通知が届くことで、子どもの所在が保護者に伝わるようにした。 ・定期的にクラブの玩具や校庭の遊具の点検を行ない、安全管理に努めた。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	<p>利用者満足度調査について、全体満足度については95%以上、サービス・施設管理面については90%以上の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。 利用者満足度調査回収率は95%を超えており、利用者意見の聴取に対する取り組み成果がうかがえる。また、回収率から、調査結果の精度は高いと判断できる。 研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、全体的に良好な運営を行っているが、児童の安全性が損なわれた案件が発生してしまったため、総合評価を「B」とした。なお、本件については、指定管理者が就業規程に則り、当該職員への厳重注意や指導だけでなく、運営している全学童保育クラブにて事例共有及び研修実施等の対応を早期に講じていることを市が確認した。</p>	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>・コロナ禍により、保護者のクラブへの来所の機会が減っているが、クラブ日よりなどでクラブの様子を詳しく伝えられるよう写真を多用したり、ICTシステム「コドモン」を利用し情報発信を行なった。新型コロナウイルス感染対策が緩やかになった3月下旬には、保護者参観週間やセルビアサッカー交流会を実施し、保護者が参加できる行事も行なった。スライドショーの上映など、保護者のクラブへの理解を深める機会を設け、保護者との信頼関係の構築に努めた。 ・保護者の要望と子どもの様子を見ながら、できる限り学習に集中できる環境を整え、クラブで宿題を終わらせることができるようにした。 ・長期保育や一日保育の際には、工作週間を設け、ハマバチ定規・浮沈子・スライム・スノードーム作り・風作りなど子どもたちが季節の工作を楽しめるように工夫した。夏休みには、夏祭りを計画し実施した。今年度は高学年を中心に夏祭り実行委員会を行ない、子ども中心で夏祭りの企画をした。職員と子どものみではあったが、子どもたちはお祭りを通して、準備やお店当番など日頃とは違う体験をすることができた。また、日々の保育の中でも季節の行事を行うなど一年をとおして子どもたちが様々な体験活動ができるように取り組んだ。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため手洗い、うがい、マスクの着用、黙食等の指導、おもちゃや室内の消毒、換気等を徹底し保育を行った。サポートルームや体育館等学校施設を借りるなど学校との協力関係を築き、密を避けた保育ができるよう取り組んだ。また、法人内の感染症部会を中心に、感染症対策を検討し、法人内クラブで情報共有をし、安全に保育を行うことができた。 ・年度末には1年の思い出ができるよう近隣の子どもセンターばおへ行き、いつもとは違う遊具や施設で思い切り遊び、昼食も子どもセンターばおの一室をお借りして食べた。その後クラブに戻りスライドショーをみんなで鑑賞して1年を振り返った。 ・相原地区別懇談会に参加し、意見交換や情報共有などをとおし地域との交流を図った。</p>	

【評価対象年度 2022年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2022年12月1日～2023年1月7日(38日間) 【登録児童数】90名(調査月1日時点) 【配布枚数】81枚 【回答数】78枚 【回収率】96.3% 【調査方法】(配布方法)ICTシステムアンケート機能を使用。未登録の家庭へはおたより袋にて紙面配布。 (回収方法)ICTシステムアンケートで回答、紙面は回収箱に投函またはおたより袋にて回収。
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	94%	98.7%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	91	92	94	95	96
実績値	95.5	98.1	98.7		

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	94%	94.9%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	91	92	94	95	96
実績値	91.2	95.1	94.9		

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	14.3回	A	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	10.3	14.8	14.3		

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において90%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は95%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2022年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「職場巡視点検票」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを法人の「個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「個人情報保護規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを法人の「苦情解決に関する規程」等で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを法人の「学童保育クラブにおける救急対応マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「育成日誌」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「学童保育クラブ感染症予防・対策マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいたことを「事業報告書」等で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が53.8%であることを「職員調書」で確認した。	適

【評価対象年度 2022年度】

(2) 業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年1月25日に同一法人が管理する鶴川第四学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年1月25日に同一法人が管理する鶴川第四学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	31,830	29,062	31,847	31,153	33,290	32,511	20,668		21,095	
	特別育成料	370	466	296	438	444	588	0		0	
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0		0	
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0		0	
	計	32,200	29,528	32,143	31,591	33,734	33,099	20,668	0	21,095	0
支出	人件費	28,517	26,102	29,009	28,279	29,796	29,155	18,248		18,675	
	管理費	740	721	708	664	822	570	440		440	
	運営費	527	346	526	291	616	424	280		280	
	精算する経費	1,716	730	1,700	594	1,700	940	1,700		1,700	
	間接経費	700	627	200	167	800	777	0		0	
計	32,200	28,526	32,143	29,995	33,734	31,866	20,668	0	21,095	0	
総計(収入-支出)	0	1,002	0	1,596	0	1,233	0	0	0	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0	2.8		
負債比率	85.6	67.3	66.1		

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。